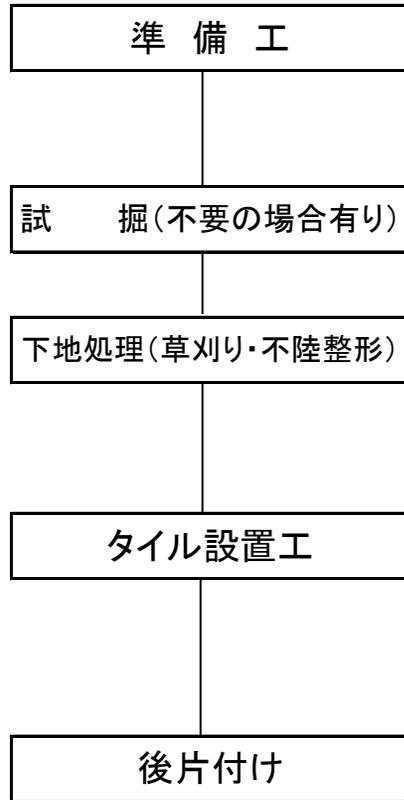


マルチング工(防草タイル)の手順書



内 容	留 意 事 項
作業内容の確認 作業人員の確認 保護具の点検 使用機械、資材、工具の点検	指示書の内容確認 安全ミーティング日報による 作業別安全チェックシートの活用。
施工箇所に埋設ケーブルが有るか、無いか、図面にて確認し有る場合は、 施工前に試掘を行う。この時、関係部署の立ち会いを受けること。	埋設管を傷つけない様に、人力にて掘削を行い、 関係部署の立ち会いを受ける。
施工箇所の下地処理として草刈りを行う際は、別紙草刈り手順書に 準拠し作業を行う従い。本線及び側道等で飛石の懸念がある箇所について トリマー式の刃を使うか、飛散防止ネットを設置し、作業を行う。 浮石等施工に支障のあるものは取り除く。	有資格者による機械作業を行う。 飛散防止対策の実施(ネット又はトリマー等の使用等) スコップ等を扱う際は無理にこじたり力任せに 振り回さないこと。(飛石注意)
不陸調整を行う。 設置位置の端部よりタイルを隙間無く据付けていく。 ある程度の枚数の据付を完了後、目地通りを確認した後、 専用のアンカーピンで固定する。	不陸調整後、十分にJ転圧を行い、沈下を抑制する。 ハンマーを打つ際は手をたたくことが無いよう手元、 周囲に注意する。
使用した道具、機材、余った材料等は、トラックに積み込み、最後に 竹ぼうきなどで清掃する。	使用した道具等は、現場に忘れ物が無いように 確認する。

注意事項 機械作業は、有資格者が必ず行う。
 車輛の誘導を確実にを行う。
 作業に合った保護具を使用する。
 立ち入り防止柵内に立ち入る際は既設門扉の使用または開口部を設けるか適切な昇降設備を使用する。
 移動前に積載物の落下防止対策を実施し、複数人で確認する。
 車両を後退させる際は誘導員と打合せ実施後移動する。